お 知 ら せ

平成２８年１０月１１日
株 式 会 社　三 浦 組
秋田河川国道事務所

日沿道 残る県境区間・秋田側の工事に着手
「遊佐象潟道路」工事安全祈願祭を開催します

日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する「遊佐象潟道路」は、山形県遊佐町から秋田県にかほ市を結ぶ自動車専用道路です。
この度、遊佐象潟道路の秋田県区間において、最初の工事着手にあたり、工事の無事故・無災害を願うとともに、残された県境区間の一日も早い完成に向け、安全祈願祭を執り行います。

１．日　　時：平成28年10月16日(日)　11：00より(1時間程度)

２．場　　所：秋田県にかほ市象潟町西中野沢字中ノ沢 地内（別紙案内図を参照）
（遊佐象潟道路 関地区道路改良工事現場内）

３．主　　催：株式会社 三浦組［本社所在地：秋田県由利本荘市西目町］

４．内　　容：玉串奉奠ほか神事 など

５．取材申込：取材を希望される方は、別紙様式に記入いただき、事前に下記FAX番号へ送信お願いします。
（FAX 018-864-4425、10月14日(金)15：00必着）

発表記者会：秋田県政記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

【安全祈願祭や施工内容に関する問い合わせ】
株式会社 三浦組
常務取締役　佐藤（さとう）　強（つよし）　TEL 0184-33-2307(代表) FAX 0184-33-3757

【事業に関する問い合わせ】
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
副所長(道路担当)　田口（たぐち）　和弘（かずひろ）(内線205) TEL 018-823-4167(代表) FAX 018-864-4425

関地区道路改良工事　安全祈願祭　案内詳細図

※象潟ICから会場まで約6分です



当日は、●印にプラカードを持った
案内者を配置しております。



プラカードイメージ

日本海沿岸東北自動車道 遊佐象潟道路

計画概要

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）は、新潟県・山形県・秋田県の主要都市を結び青森県に至る延長約322kmの高規格幹線道路です。日本海沿岸地域の交流・連携を強化するとともに、環日本海交流の推進を図る上で重要な役割を担います。

遊佐象潟道路は日沿道の一部を構成する道路で、秋田・山形県境を繋ぎ、ジオパークなどへのアクセス性向上による観光活性化、航空機産業などの物流効率化による産業の活性化、災害に強い道路ネットワークの確保等の効果が期待されます。

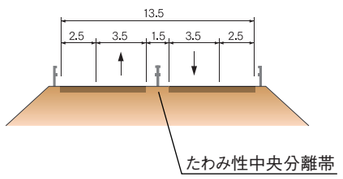
計画諸元

区　　間	● 起点	山形県飽海郡遊佐町北目
	● 終点	秋田県にかほ市象潟町小滝
延　　長	●	17.9km（うち秋田県区間9.9km）
標準幅員	●	13.5m（2車線）
構造規格	●	第1種第3級
設計速度	●	80km／h

事業経緯

平成　8年度	●	基本計画決定
平成24年度	●	都市計画決定
平成25年度	●	事業着手
平成27年度	●	用地着手
平成28年度	●	工事着手

道路構造



安全性向上への取り組み





期待される効果

エリア間の繋がりが強化され ジオパークの魅力向上

秋田県にかほ市、由利本荘市、山形県酒田市、遊佐町では、鳥海山・飛島ジオパーク（平成 28 年 9 月 9 日認定）を活用した観光振興を目指しています。

日沿道の整備により、ジオパークへのアクセス性向上、エリア間の連携強化、パーク内周遊の利便性向上による観光の振興が期待されます。

鳥海山・飛島ジオパークと日沿道



代表的なジオサイト

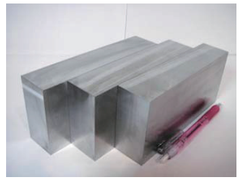




高速道路で工場間が繋がり 輸送効率化で競争力強化

秋田県では、航空機産業などの成長分野による産業振興を目指しています。

日沿道の整備により、航空機産業が進展する山形県・新潟県へのアクセス性が向上し、輸送の効率化が図られることによる産業の振興が期待されます。

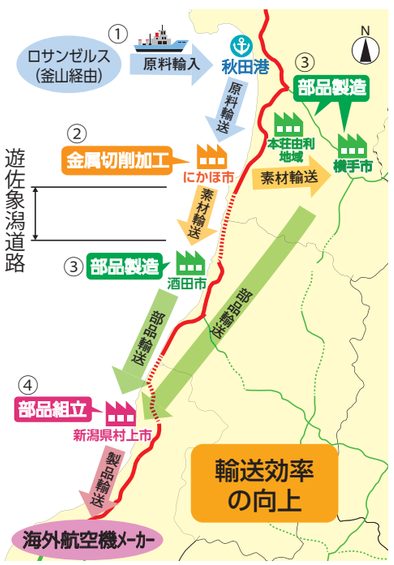


航空機素材



内装品（ギャレー）

航空機内装品製造の流れ



災害に強く信頼性の高い 道路ネットワークを確保

秋田・山形県境沿岸部の主要幹線道路は国道 7 号しか存在しないため、寸断時には多大な迂回が強いられます。

日沿道の整備により、広域迂回のリスクが解消されるとともに、太平洋側の高速道路などとのネットワークを形成し、災害に強い道路網を確保します。



事故発生状況（にかほ市象潟町）



別 紙

国土交通省　東北地方整備局
秋田河川国道事務所　宛
（FAX　018－864－4425）

日沿道 残る県境区間･秋田側の工事に着手

「遊佐象潟道路」工事安全祈願祭を開催します

取材申込書

取材希望の場合は、この様式を用いて上記連絡先までFAXでお申込み下さい。
申込み締め切り日は、10月14日(金)15：00迄です。

会社名、部署名、人数
取材者 （役職･氏名･連絡先）
①(代表者)
②
③
連絡先(代表者の連絡先)